

フィッシングロッド取扱説明書

⚠ 使用上のご注意



高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は最悪の場合、重大事故を招く恐れがあります。また水に濡れたガラス素材の釣竿も同様の危険がありますのでご注意ください。



危険 高圧線・架線・電線に注意してください。素材特性上、電気をよく伝えます。したがって電線等に接触すると感電する恐れがあります。場合によっては死亡事故につながります。特に高圧線の下では絶対に使用しないでください。高圧線の場合、近寄っただけでも高圧線から放電し感電する場合があります。



危険 釣場以外の場所で釣竿を使用して電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用するときは周囲の安全に十分注意してください。



危険 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、釣竿をただちに仕舞い込むか、釣竿から離れるようにしてください。



警告 投げる時は周囲に人がいないか十分に安全を確認してください。釣竿、釣針、ルアー、ルアーフック、オモリ等が当たると非常に危険です。



注意 釣竿の固着（継ぎ部が食い込んで外れない時）は、継目の両側近くに滑り止めを当てて握り、お互いに逆方向にひねりながら押し、継目をゆるめて下さい。この際、一気に力を入れると、釣竿の継目に手をはさみ、ケガをする恐れがありますので、注意しながら徐々に力を入れてください。



注意 根掛りした時（釣糸、仕掛けが引っ掛かり外れない状態）は、釣竿をあおらず糸を手にとって切るようにして下さい。釣竿を無理にあおると竿が折れてケガをする恐れがあります。また、手に取る場合は糸で手を切る場合がありますので手袋やタオルで手を保護してください。



注意 使用中、万一釣竿が破損した場合は、破損した箇所は非常に危険ですので触らないようにしてください。ケガをする恐れがあります。



注意 竿先は細く危険です。目を突いたりする恐れがありますので持ち運ぶ際には袋などに入れ、周囲に十分注意してお取り扱いください。また、保管する際は、袋などに入れ幼児の手の届かない場所に保管してください。



注意 本製品は釣りの目的のために作られています。釣場以外の人混みの中や、狭い屋内などでのご使用は大変危険ですのでおやめください。

⚠ 並継タイプのご注意



注意 継目の差し込みが浅すぎると破損の原因となりますが、必要以上に差し込んでしまうと固着の原因にもなりますのでご注意ください。仕舞う時は、必ず元竿より順番に継目近くの両側を両手で持ち、ひねりながら引くようにして継目の固定をゆるめ元竿から順番に納竿してください。

⚠ 印籠継タイプのご注意



注意 印籠継タイプでは、摩擦によるガタつき防止の為に、あらかじめ継目に約1～2cmの隙間があくよう設計してあります。無理に押し込まないでください。又、ヤスリ等で絶対に削ったりしないでください。仕舞う時は、必ず元竿より順番に継目近くの両側を両手で持ち、ひねりながら引くようにして継目の固定をゆるめ元竿から順番に納竿してください。

⚠ 釣竿製作・修理・改造のご注意



注意 釣竿製作・改造・修理は、刃物、火気など危険物を使用しますのでお取り扱いには十分にご注意ください。



注意 たとえ修理・改造製品がメーカー保証期間内であっても、修理・改造した場合はメーカー保証対象外となる場合がございますので、あらかじめ各メーカーにお問い合わせください。当社では一切の責任を負いかねます。



注意 改造・修理後の破損、又はそれによって生じたケガ等につきましては、その責任を負いかねます。



注意 当社ブランク及び各種パーツを使用した製作途中、もしくは製作後の商品の破損、製作中の事故等につきましてはその責任を負いかねますのでご了承下さい。



注意 その他、危険行為と思われる作業などは十分にご注意の上、全て自己責任で行ってください。



注意 釣竿の注意事項も併せてお読みください。

⚠ 釣竿使用上のご注意



注意 リール使用時は、リールシートにしっかりと固定されているか確認してください。緩んだままの使用はリール脱落や竿の破損の原因となります。



注意 適応ライン（釣糸）、ルアー、オモリなど必ず守ってご使用ください。破損の原因となります。



注意 リールのドラッグ調整を必要以上に強くしないで下さい。竿へ負荷がかかり過ぎて破損する場合がございますのでご注意ください。尚、ドラッグ調整については各リールメーカー様へお問い合わせください。



注意 ルアーや仕掛けを結んだまま、ライン（釣糸）を無理やり巻き込まないでください。ガイドや穂先の破損原因となります。



注意 継ぎ目部分に異物が付着した場合は、取り除いてください。付着したまま使用すると、ガタつきなどの原因となり、破損する恐れがありますのでご注意ください。



注意 改造などは、本来の機能を失ってしまう恐れがありますのでおやめください。



注意 使用中、岩の上やコンクリートなどキズの原因となりやすい所に置く時は十分ご注意ください。キズがついた場合、その箇所から折れる場合があります。



注意 ライン（釣糸）は必ず、すべてのガイドに通してください。通し忘れた状態で使用されると竿本来の性能が損なわれたり、破損の原因となります。また、正しくライン（釣糸）が通されていても魚とのやりとり、魚の取り込み時、ルアーや仕掛けの交換などの際、釣竿を垂直方向（鋭角になるような状態を含む）に立てて行うと竿に負担がかかり、折れる場合がありますのでご注意ください。



注意 ライン（釣糸）が釣竿に絡んだ状態で使用しないでください。竿に負担がかかり折れる場合があります。

⚠ 釣竿保管及び手入れのご注意



注意 使用後は、水分や汚れを拭き取り十分に自然乾燥させてください。特に海水で使用された場合はできるだけ早く真水かぬるま湯で洗い流し、乾いた布で水分を拭き取ってください。汚れのひどい場合は中性洗剤を含ませたやわらかい布やスポンジなどで、傷がつかないように拭き取って下さい。尚、研磨剤の入った洗剤、ベンジン、シンナー等は、表面やグリップ部分を傷める場合がありますので使用しないでください。



注意 高温になる場所に長期間放置しないでください。夏場、車内やトランクなど密封状態になる場所はかなりの高温になり、グリップやロッドの変形などの原因になりますので、絶対に避けてください。また、使用したまま、密閉状態にして置く塗装部分が傷んだり、ガイドやリールシート部分などの金属部が腐食する場合があります。水分を拭き取った後は、風通しのよい日陰で乾燥させてから保管してください。



注意 直射日光を避け、風通しの良い場所で保管してください。



注意 幼児の手の届く場所や出入りの激しい場所への保管は避けてください。

⚠ その他釣竿のご注意



注意 竿に強い衝撃を与えないよう、持ち運びや取扱には十分注意して下さい。表面に傷が無くても内部に傷が入り、破損する場合があります。



注意 竿のアクションをみるためにオモリをぶら下げたり、竿を曲げたりする時は、使用時と同じ状態で必ずグリップを持っておこなって下さい。穂先のみをねじ曲げたり、竿の途中部分を握って曲げないで下さい。



注意 竿の曲がりには現在の生産技術上、ガラス、カーボンの違いを問わず各部の曲がり100%排除する事は不可能です。当社では使用上支障をきたす恐れのある竿については出荷を行っておりません。製品においても曲がりが生じていますが、強度や機能上問題はありませぬ。また、長期間、壁などにもたれさせるように保管していた場合など、保管状態によっても曲がりが生じる場合がありますのでご注意ください。



注意 改造についてお客様、もしくは小売店における改造後の故障に関しては、当社では一切責任を負いませんのでご注意ください。

⚠ 釣竿アフターサービスについて

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店まで製品（破損部分だけでなく、製品自体全部）をお預けください。

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。

保証書付の商品につきましては、保証書を添えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。保証基準に準じて保証修理をいたしますので、保証書の保証規定をよくお読みください。